

～「なるほど」から「なぜ」を生み出し、協働で深める取り組み～

实践背景

学習が受け身になりがち
定期考査が終われば学習が終わる

新たな疑問や課題を持つようになる？
興味・関心が深まる？（2023年度実施）

実践方法

-

縄文時代の人々は狩猟生活をしているイメージがありました。しかし実際は、海も深く掘りついで、さまざまなマゴロを多く生産し旬を楽しんでいたことが、技術が高くなったと感じました。海を渡って日本へやってきたホモ・サビエスは本当に能力が高かったと実感しました。授業で習った通り、ホモ・サビエスは脳容量が1500mLと大きかったことと文明を大きく発達させたといふことから脳容量と文明の発達は大いに関わっていると考えました。

結果

考察と今後の課題

この取り組みを繰り返すことでさらに学びへの意欲の向上にプラスの影響を与えているかどうかを検証していきたい。